



モザンビーク共和国 (Republic of Mozambique)



- モザンビークへの援助総額は2014年度までに累計1,616億円。
- 自衛隊のPKO派遣を始めとして平和構築・内戦からの復興を支援。
- 同国は天然資源が豊富であり、近年ではインフラ整備等、同国の潜在力を活かした経済成長に資する支援を実施。

国概要

(基礎データ)

- ・面積: 79.9万平方キロメートル
- ・人口: 2,797万人(2015年, 世銀)
- ・首都: マプト
- ・民族: マクア族, ロムウエ族等43部族
- ・言語: ポルトガル語
- ・宗教: キリスト教(41%), イスラム教(17.8%), 原始宗教
- ・政体: 共和制
- ・議会: 一院制の共和国議会(議員数250名)
- ・GDP: 163.9億ドル(2014年, 世銀)
- ・一人あたりGDP: 602ドル(2014年, 世銀)
- ・経済成長率: 6.3%(2015年, 世銀)
- ・失業率: 22.6%(2014年, 世銀)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

(略史)

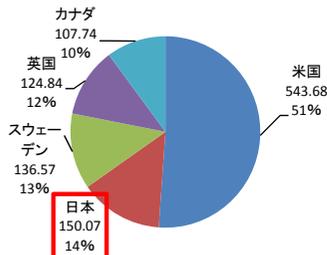
1489年	ポルトガル人到達
1544年	ポルトガルの貿易商人ロレンソ・マルケスが現在のマプトに貿易基地を設け植民地活動本格化
1629年	ポルトガルの支配権確立
1900年	反ポルトガル蜂起続発
1962年	モザンビーク解放戦線結成
1975年	独立
1992年	モザンビーク包括和平協定署名

援助実績

スキーム	額(累計)／人数(延べ)
円借款	411.9億円 (2014年度末時点)
無償資金協力	986.4億円 (2014年度末時点)
技術協力	217.4億円 (2014年度末時点)
青年海外協力隊	延べ218人 (2014年度末時点)
シニア海外ボランティア	延べ8人 (2014年度末時点)

出典: ODA国別データブック2015
青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)
(注)青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。

モザンビークへの主要ODA供与国 (2013年実績, 出典: OECD/DAC) (単位: 百万ドル)



経済関係

スキーム	金額／人数(直近年)
日本からモザンビークへの輸出	167.8億円 (2015年, 財務省貿易統計)
モザンビークから日本への輸出	93.6億円 (2015年, 財務省貿易統計)
在モザンビーク日系企業数	27社 (2015年10月時点, 外務省統計)

人的つながり

項目	人数(直近年)
モザンビークにおける在留邦人数	167人 (2015年10月時点, 外務省海外在留邦人数調査統計)
在日モザンビーク人数	132人 (2015年12月時点, 法務省在留外国人統計)
モザンビークから日本への留学生数	40名 (2015年5月時点, (独)JASSO調査)

日本とモザンビーク共和国との協力年表

年代	案件
1975年	同国の独立と同時に承認
	対モザンビーク初の経済協力(災害緊急援助)を実施
1977年	外交関係開設(1978年3月より在タンザニア大使館が兼轄)
1984年	モザンビークは在中国大使館が本邦を兼轄(1993年12月に駐日大使館開設)
1985年	在タンザニア大使館より在ジンバブエ大使館へ兼轄換え
1993年	在モザンビーク兼勤駐在官事務所開設(同月, モザンビークに対する国連平和維持活動(PKO)開始, 司令部業務, 輸送調整業務及び選挙監視業務のため合計169名派遣)
1995年	同事務所閉館(1995年1月PKO終了)
1996年	シマン外務協力大臣訪日(外務省賓客)
1999年	在南アフリカ大使館へ兼轄換え
2000年	在モザンビーク日本国大使館開館
2002年	青年海外協力隊派遣取極締結
2003年	JICAモザンビーク事務所開設
	モザンビークへの青年海外協力隊派遣開始(2名)
2005年	技術協力協定締結
2007年	ゲブーザ大統領による訪日(公式実務訪問)
	対モザンビーク初の円借款(モンテプエスーリンガ間道路事業)の貸付契約調印
2012年	アリ首相訪日(実務賓客訪問)
2013年	安倍総理とゲブーザ大統領の首脳会談(TICAD V)
	岸田外務大臣とクエネア企画開発大臣との間で日・モザンビーク投資協定の署名
2014年	安倍総理大臣は日本の総理大臣として初めてモザンビークを訪問
	第1回日・モザンビーク・ハイレベル政策対話及び官民合同対話実施
	日・モザンビーク投資協定発効
2016年8月	ニユシ大統領がTICAD VI(於: ナイロビ)に出席

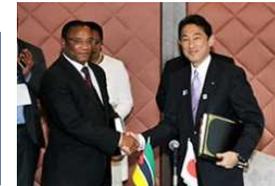
2016年5月末時点で38名の青年海外協力隊員がモザンビークで活動中。



貧困率が高い北部地域に位置し、資源・農業開発に大きなポテンシャルを有するナカラ回廊とその周辺地域において、道路や港湾などの社会基盤の整備を促進するとともに、農業、教育、保健を含む総合的な開発を支援する「ナカラ回廊開発・整備プログラム」を展開中。



サブサハラ・アフリカ諸国初の二国間投資協定



「日本国とモザンビーク共和国との間の「友情」(AMIZADE)パートナーシップに関する共同声明」を発表。



ニユシ・モザンビーク大統領と安倍総理との会談(ワーキングランチ)

